

地域と共にある学校づくり

信州型コミュニティスクール

北信地区活動だより

NO. 19 (令和3年8月) 北信教育事務所生涯学習課 文責：指導主事 岡田 絵美

コミュニティスクールの活動を充実させるために「熟議」を取り入れて、願いや目的を共有しようとする学校が増えてきています。19号では、夏休みを利用して行われた熟議の様子についてご紹介します。

八幡小



「地域の方と、学校職員が語り合う子ども達の姿～公民館での熟議～」

千曲市立八幡小学校では、学校、家庭、地域が連携を密にして、子ども達の健やかな成長を支えることを目的とした「八幡っ子支援委員会」が組織されています。学校運営についての意見交換や、年間を通した見守りボランティアやお掃除ボランティア等が行われています。また、近くにある公民館と連携して、しめ縄教室や書き初め教室も行われています。

Ⅱ 「多くの先生方も参加できる夏休み中の開催」

今回は、初めての熟議の試みとして、夏休み中に公民館で行われました。日頃、学校運営委員会等の多くの会議は学校が企画をして、学校で行うことが多いのですが今回は、八幡っ子支援委員会委員長さんが中心となって共に企画し、公民館で開催することとしました。通常の学校運営委員会では、担任の先生方が参加する機会はあまりありませんが、夏休み中に設定したことにより、多くの先生方と地域の皆さんとが顔を合わせてお話する機会となりました。

【八幡小 八幡っ子支援委員会の次第】

- 1 開会の言葉 (教頭)
- 2 挨拶 (運営委員長・学校長)
- 3 協議
 - ① 「八幡っ子委員会」規約について (運営委員長)
 - ② 活動報告と本年度の事業計画について (教頭)
 - ③ 八幡小学校児童の様子について (各学年主任・生活指導係)
- 4 千曲型コミュニティスクールについて (市教育委員会)

※1～4までで、約45分
- 5 熟議「八幡っ子について」… 約40分

各グループからの発表 … 約5分
- 6 挨拶 (学校長)
- 7 終わりの言葉

※約1時間30分

八幡っ子支援委員会 委員の皆様



共同での企画・準備と
連名での通知発出

八幡っ子支援委員会 委員長 岡崎 孝治
八幡小学校長 宮坂久美子

八幡の子どもについて語り合いました
(八幡っ子支援委員会)

梅雨の候、地域・PTAの皆様方にはますますご清栄にてお過ごしのことと拝察申し上げます。また、日ごろより八幡の子どもたちの教育のためにご協力いただいておりますことに、深く感謝申し上げます。

さて、八幡っ子支援委員会を下記のような新しい形で開催することとしました。八幡小の子どもについて、地域の皆様、保護者様、学校が顔を合わせて語り合いたいと思います。ご都合をつけ、ご出席くださいますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

記

- 1 日時 令和3年7月27日(火) 午後3時～4時30分 **終了時刻の明示 = 参加しやすい**
- 2 場所 八幡公民館 2階大会議室
- 3 内容

- (1)今年度の八幡っ子支援委員会について説明します。
- (2)学校から八幡小の子どもたちの様子についてお話しします。
- (3)八幡小の子どもについて語り合います。
 - ①区ごとにグループになってざっばらんに語り合います。
 - ②メンバーは、区長さん、八幡っ子委員会のメンバーさん、PTAの支部長さん、学校の支担当職員です。
 - ③それぞれの区ごとの話し合いで出された内容をみんなで共有します。
 - (4)学校長あいさつ



- ・八幡の子どもたちに期待することは・・・
- ・地域の力を子どもたちのために生かしていくには・・・
- ・子どもたちにもっと、ふるさとや地域を知ってもらうには・・・
- ・昔の子どもたちと今の子どもたちの違いは・・・
- ・子どもたちの安全をみんなで守るには・・・

話す内容の例示

4 その他

・欠席される場合は、7月20日までに、担当までご連絡ください。

【事前に出された案内通知】

【校長先生の挨拶より】

今日は、八幡小の子ども達について語り合う初めての試みです。いつもは地域の方に学校へ来ていただいておりますが、今日は職員が地域に出ました。職員にとっても地域の方と顔を合わせて語る良い機会です。ぜひ最後は皆さんに笑顔で帰って欲しいなと思います。



今回の熟議では、地区ごとに5グループに分けられました。一つのグループの人数は7人～9人、地区担当の学校職員が2名ずつ入り、記録と発表役を担いました。

【実際の熟議の様子から】

子ども達、特に低学年はカバンが重くて大変そうなんだけど…。

カバンが重いせいもあって下級生は歩くのが遅くなるけど、上級生はそれを分かっている見守ってくれているみたいです。「お互いさま」という感じで、1年間かけて分かってくる、それでいいと思います。うちの子も、毎日がんばってます。

カバンの重さはデメリットと思っていたけれど、皆さんのお話を聞いて、思いやりや体力向上の面で良さもあると分かりました。



徐々に雰囲気がほぐれてくる中で、課題に感じていることや、子ども達の育ちの様子が語られていました。熟議の最後には、各グループで話し合われたことが発表され、共通理解を図ることが大切にされていました。

【熟議に参加した先生の感想】

八幡のことを知っていると思っていましたが、地域の方と話をして、まだまだ知らないことがあるのだと分かりました。これからも、もっと地域と繋がっていききたいと思います。



【運営委員長さんの感想】

先生と地域で、思いを共有するきっかけとして、まず1回目の熟議ができて良かったです。まだまだ試行錯誤していますし、手探りですが、こういうことを今後につなげていくことが大切だと思っています。



「熟議を取り入れてみませんか～熟議企画のポイント～」



熟議は目的とやり方が決まれば、手軽に取り入れることができます。また、熟議に要する時間は説明や振り返りを含めて、1時間程度から可能です。熟議を行う機会を増やし、語り合うことを通して願いを共有し、コミュニティスクールを充実させていくことが求められています。

以下のポイントを参考にしながら、熟議を企画してみませんか。

【熟議企画のポイント】

① 熟議の目的は？（何を願うのか）…コミュニティスクール推進上の課題から考えてみましょう

例）・運営委員会で意見が出ない、活性化したい

→ざっくばらんに話をすることを通して、気軽に話し合えるような関係構築のきっかけにする

・コミュニティスクールの目的がはっきりせず、やらされ感がある

→何のための活動なのか、子ども達の育ちについて語り目的を共有する

・コミュニティスクールについて理解が足りない

→研修的な内容+それを元に、どのように取り入れられるかを話し合い、活動につなげる

② どんな場で実施し、誰が参加するのか…学校運営委員会、土曜参観日、地区懇談会など

③ 熟議の前→説明や情報提供 熟議の後→共通理解やまとめ をどのようにするのか



「熟議」を取り入れたい学校を支援します～指導主事がお伺いします～

地域とともにある学校づくりの充実に向けて、学校や地域に出向いての信州型CSの基礎研修や実践事例の紹介などをします。お気軽に連絡していただけたいと思います。

■■お問い合わせ先■■

北信教育事務所生涯学習課 〒380-0836 長野市大字南長野南県町686-1 担当：岡田
Tel：026-234-9552 E-mail：hokushinkyu@pref.nagano.lg.jp